



【実践の詳細】

葛巻町内の3中、江刈中、葛巻中、小屋瀬中との生徒会交流を通して、これまでの支援に対する感謝の気持ちを伝える活動である。未来を担う同世代の絆を深めることをねらいとして、昨年度（平成24年度）より実施している。今年度は「田野畑ゆめみらい学習」と名付け、葛巻3中との交流の後、葛巻町長及び久慈市長から直接、防災対策としての情報通信基盤整備の状況や「あまちゃん」効果を踏まえた観光及び情報発信の現状及び、町政・市政の将来的ビジョンについて話をうかがい、田野畑村の復興・振興について考える機会となるよう計画、実践した。

田野畑ゆめみらい学習の流れ

県校長会支援のバス3台と太鼓運搬トラック1台で葛巻中学校へ（10月10日）

葛巻町内3中学校との交流（全校）

交流の主な内容

- ① 生徒会による学校紹介
- ② 田野畑の復興状況の紹介と「復興太鼓」披露
- ③ 合唱交流と合同合唱（於：葛巻中）

葛巻町長講話「山村の持つ力」（全校）

バス1台で葛巻町内へ

1学年
「葛巻町に学ぶ」
バイオマス施設
エコ住宅
風力発電施設
の見学

バス1台で久慈市内へ

2学年
「県立高校訪問」
久慈高等学校
久慈東高等学校

バス1台で久慈市役所へ

3学年
「久慈市に学ぶ」
久慈市役所訪問
久慈市長講話
「東日本大震災からの復興・復興・飛躍をめざして」

葛巻・久慈の状況をまとめ、レポートを作成

第2回「田野畑教育の日のつどい」
プログラムの1つとして実施

復興子ども会議 11月2日

参加者は田野畑小代表児童、田野畑村長、復興庁岩手復興局参事官補佐、PTA、地域住民多数

【生徒の感想】◆葛巻町長さんの講話を聞いて「誰でも夢を持っていれば実現できる」ということを聞いて、夢が叶うかどうか迷っていたことがスッキリした。◆葛巻では風力発電等によって村の電力をまかなっていて電力自給率166%ということに驚いた。◆村全体で一次産業やエネルギーなど将来性のあるものに力を入れなければならないと思った。また、力を入れていく方向性を具体的に決める必要があると思った。村を引っ張っていくリーダーの存在も必要だと思った。◆久慈市ではメガソーラー発電、風力発電など復興に向けていろいろな取り組みをスタートさせている。あまちゃん効果が33億円にもなったことにびっくりした。田野畑も何かをPRし、もっと観光客を増やすべきだと思った。◆葛巻町のように田野畑村も、その地域に合った産業やエネルギーづくりをしていきたいと考えた。また、久慈市のように地域の特色を生かした産業を発展させていき、村の良さを最大限に生かしてさらにいい村をつくっていききたい。

【まとめ】◆復興教育3つの教育的価値の「かかわる」の7項目のうち、特に「復興へのあゆみ」をねらいとした実践を横軸連携の取組を通して行うことができた。◆他校との交流を通して、生徒会リーダーの校外での活躍場面を設定することができ、リーダー育成につながった。◆他市町村の状況を実際に見学し、自分たちの村と比較することにより、あらためて地域の良さを再確認するとともに、課題について考えるきっかけとなった。◆他市町村の首長の話を通じて地元への思いを直接感じ取り、将来の自分と郷土へのかかわりを考えるよい刺激となった。★県校長会の「横軸連携」という力強い支援のお陰で、地域を越えたダイナミックな教育活動を展開することができたと感じている。快く受け入れてくださった関係各位に心から感謝申し上げたい。

江刈中から学校農園で育てた野菜を
受け取る本校生徒



葛巻町エコエネルギー施設を
見学する1年生



山内久慈市長へ「あまちゃん効果」
について質問する3年生



未来担う絆強く

田野畑中 葛巻で町内3校と交流
田野畑村の復興を担う若手復興局参事官補佐、PTA、地域住民多数が参加した。交流は、久慈市長講話、久慈市役所訪問、久慈市長講話「東日本大震災からの復興・復興・飛躍をめざして」など。交流後は、久慈市役所前で合同合唱を行った。

平成25年10月11日(金)
岩手日報